

に御座候、一つ生りは鳥目百文、二つ生り三生り御座候へば、壹つ百文宛御増御祝儀出申候外に疊表拾枚は、毎年御取次生島殿へ遣申候事、  
 一往古より人等八人之末孫共相續仕、例年霜月朔日に調貢仕、生島殿より請取切手相渡り申候御事、

亥二月

郁子供御人等中

〔郁子譜并圖〕郁子譜

毎年十一月朔日、近江國高島郡奥之島村王濱ヨリ郁子ヲ獻ズ、

延喜式ノ下三十一、宮内省諸國例貢御贄、近江郁子、同三十三、大膳式ノ下、諸國貢進菓子、近江國郁

子二輿籠○中略

毎年十一月朔日、近江國高島郡王濱ヨリ郁子ヲ獻ズ、文安二年郁子之宣旨、

近江國蒲生郡奥之島奠供御人等中、任先例止、非分之課役、可專調貢之由被聞食畢、可令下知給之旨、天氣所候也、仍言上如件、俊秀誠恐謹言、

文安二年十一月十一日

左中辨俊秀

尹大納言殿

右宿紙禮紙、有禮紙之上、

尹殿

左中辨俊秀

近江國蒲生郡奥島莊之内、奠供御人等被停、非分之課役、綸旨如此、早存其旨、可專調貢之由、中山大納言殿仰所候也、仍執達如件、

十一月廿一日

中務少輔重忠印

右一紙口、表